



②② 即非髻舍利塔

延宝4年(1676)に翠峰により建立された、江戸時代前期に中国から渡来した臨済宗黄檗宗の僧即非の髻舍利塔です。「髻」は、ほほ髭の事です。



②③ 翠峰禅師の墓

安国寺を中興した僧である翠峰の墓塔で、延宝5年(1677)に建立されています。



②④ 六地藏(天上道)

六地藏の一つで、「天上道」の地藏菩薩像です。頭部は欠損しています。



②⑤ 六地藏(人間道)

天明1年(1781)の銘がある「人間道」の地藏菩薩像です。



②⑥ 六地藏(修羅道)

朝日村打越の地藏講女中により建立された「修羅道」の地藏菩薩像です。



③① 若宮神社石祠

明治22年(1889)に建立された若宮神社石祠です。



②⑦ 六地藏(畜生道)

朝日村中古賀地藏講女中により建立された「畜生道」の地藏菩薩像です。



②⑧ 六地藏(餓鬼道)

天明3年(1783)に建立された「餓鬼道」の地藏菩薩像です。



②⑨ 六地藏(地獄道)

「地獄道」の地藏菩薩像で、頭部は欠損しています。



③② 三界萬霊地藏尊塔

宝暦10年(1760)に僧浄鉄が施主となり建立された三界萬霊塔です。

仁比山・城原地区マップ

水・人・歴史がおりなす かんざきを歩こう

かんざきを歩こう
No.9

朝日地区

祈りと信仰コース





①八天神社の鳥居

天保5年(1834)の年号がある元春振町一番ヶ瀬の高良大明神に建立された鳥居で、昭和35年に親王御成婚記念で、八天神社に移設されています。



②八天神社の石灯籠

宝永5年(1708)に朝日村講中17名により寄進された石灯籠です。



③八天神社碑

花崗岩の自然石正面に「八天神社」と彫られています。



⑪天満宮石祠

昭和5年(1930)に17名の寄付により建立された天満宮石祠です。



⑫薬師如来大師堂

薬師如来像を祀るお堂で、神埼新四国第三十四番札所とされています。



⑬安国寺境内碑

安政2年(1855)に建てられた安国寺境内碑で、基礎は天文23年(1554)の銘の江上尚種石塔の基礎を再利用されています。



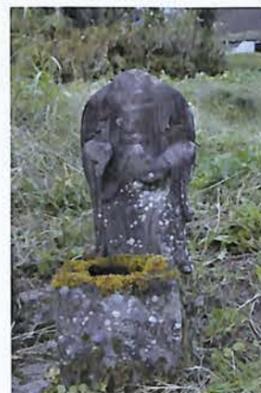
④八天神社の鳥居

鳥居の柱に小淵の廣門大明神の鳥居であることが彫られており、八天神社に移設建立された鳥居です。



⑤三界萬霊地藏尊塔

天明2年(1782)に上朝日村中により建立された三界萬霊塔です。



⑥地藏菩薩像

三界萬霊塔の横に位置する地藏菩薩像で、頭部は失われています。



⑦石灯籠

寛政8年(1796)に三界萬霊地藏尊塔の宝前に石橋政右衛門により奉納された石灯籠です。



⑭結界石

ニラやニンニクなど臭気あるものや酒などを飲んだり携えて境内への立ち入りを禁ずる結界です。



⑮十万遍念仏塔

元文元年(1736)に監院沙門虔玄により建立されています。



⑯石灯籠

延宝5年(1677)に廣壽和尚の塔前に弟子の西代道が建立した石灯籠です。



⑰弥勒菩薩像塔

髻を結び宝冠を付け法衣を纏い腹部で定印を組み宝塔を乗せる弥勒菩薩像です。



⑧白角折神社の鳥居

元禄13年(1700)に建立された鳥居です。扁額には白角折宮と彫られています。



⑨白角折神社の石灯籠

安永8年(1779)に朝日村氏子中により寄進された石灯籠です。



⑩観世音菩薩像塔

正面竿部に南無大慈大悲観世音菩薩と彫られ、安永8年(1779)に上朝日村若者中により建立されています。



⑱地藏菩薩像

廣壽開山老和尚の供養塔として建立された地藏菩薩像塔です。



⑲鎮守大権現石祠

明治22年(1889)に建立され、権現は仏が衆生を救うため神・人など仮の姿で現れたものとする神号です。



⑳少弐資元供養五輪塔

天文7年(1538)に建立された少弐氏第16代当主の少弐資元の供養五輪塔です。



㉑綾部兵庫頭為供養五輪塔

慶長19年(1614)の造立銘があり「一九禅門居士」綾部兵庫頭為菩提也孝子建之とあります。